

## 寅さん歩 その 25

### 谷端川の流れを歩くー4



平野 武宏

前回は地下鉄有楽町線要町駅付近から豊島区・板橋区・北区の区境沿いを流れる「谷端川（やばたがわ）」を明治通りまで辿りました。

今回は明治通りから不忍通りまでの流れを歩きます。寅次郎の早朝散歩のコースで、寅次郎の住むJR大塚駅近くを通ります。

写真右上は「江戸名所図会」に紹介された「谷端川」で川は遠景で詳しく描かれていませんが、図内の神社は江戸時代初めの巢鴨総鎮守の神明社（現在JR大塚駅南口にある天祖神社）とのことです。天祖神社については寅さん歩 359 半径 30 分以内ー7 さくら散歩道ー2 をご覧ください。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

### [明治通り]

「明治通り」は港区南麻布2丁目から渋谷区、新宿区、豊島区、北区、荒川区、台東区、墨田区を經由して江東区夢の島に至る総延長 33.3 km の道路の通称です。名の由来には諸説ありますが、大正 12 年（1923 年）9 月 1 日発生した関東大震災後、都市整備で最初の道路範囲が渋谷駅から神宮前で明治神宮の近くを通るからという説が有力とのこと。写真下左の前の道路が「明治通り」、右方面は豊島区池袋、左方面は北区王子です。谷端川は直進して写真下右の豊島区西巢鴨方面に流れていました。横断してすぐの左角はまだ北区滝野川7丁目です。





## 〔宮仲公園通り〕 豊島区西巣鴨 1-3

直進すると電柱の表示は西巣鴨 1-3、信号の表示が北大塚 3 丁目交差点に突き当たります。前の道は「宮仲公園通り」で道路の名となった宮仲公園は突き当たり右にあります。この土地は渋沢栄一の三男 正雄氏の居住地で昭和 13 年東京市へ寄付され宮仲公園（児童公園）となりました。交差点を右へ行くと上池袋方面、左へ行くと J R 大塚駅方面です。谷端川は左へ流れていました。直進すると右側に J R 大塚駅北口（写真下右）が見えます。天祖神社は J R 大塚駅南口にあります。



## 〔滝不動〕 豊島区北大塚 1-14

川の流れは都電荒川線を横切って直進です。線路の右手前に「滝不動」がありました。写真下右は祠内の写真です。



説明板には「この辺りを流れる谷端川沿いに石造不動明王立像があり、地元の人々の信仰を集めていました。川の流れが小さな滝のようになっていた場所に位置していたため、「滝不動」と呼ばれていました。昭和 10 年（1935 年）頃に行われた暗渠化工事に伴い姿を消しましたが、平成 11 年（1999 年）に元の位置に戻りました」と記載。

## 〔大塚三業通り〕 豊島区南大塚 1-52

川の流れは直進し写真下左で右折、山手線をくぐり（写真下右）、すぐに左折して「大塚三業通り」に入ります。三業とは料亭、待合茶屋、芸者置屋の三業種の総称で、花街・三業地とも呼ばれました。名の通り谷端川の両側は花街で芸者が約 200 名（最盛期は約 700 名とか）いたそうです。今は通りの名前だけが残っています。寅さん歩 319 東京発祥之地その 8-5（学問・文化編）のこぼれ話をご覧ください。写真下左をそのまま直進すると寅次郎の住まいの近くです。



写真下左は大塚三業通り入口、写真下右は当時をしのばせる名残の風景です。大塚三業通り入り口の先には「姿見橋」や「見返り橋」という花街らしい粋な名の橋があったそうです。



## 〔巢鴨小学校周辺〕 豊島区南大塚 1-24

川の流れは直進していますが、写真下左は東福寺参道入り口です。東福寺は寅さん歩 347 東京の博物館めぐりー34 豊島区ー3 のこぼれ話をご覧ください。

写真下右は川の流れの左側にある巢鴨小学校です。



川の流れは直進ですが、巣鴨小学校の前を右に行くと巣鴨教会があり、山田耕作が若い頃に住んだ所です。教会敷地にはこの地を思い作曲した「からたちの花」の譜面の石碑（写真下左）があります。寅さん歩 219 東京発祥之地その 8—5（学問・文化編）のこぼれ話をご覧ください。



さらに進むと右側にある南大塚 1 丁目児童遊園内に「丸山ちよ」の記念碑（写真上右）がありました。社会事業家で聾啞教育者の丸山ちよは私財を投げ打って、この近くに教育施設を作りました。記念碑には「この街でおくの子らの母であった丸山ちよ先生 灘尾弘吉書」とあります。元文部大臣の揮毫です。

## 〔文京区との境〕

川が流れる豊島区南大塚 1 丁目は文京区との境です。写真下の道路が区境で手前が豊島区、先の道の左側が文京区千石 3 丁目ですが、道の右側には豊島区が入り込んでいます。谷端川はしばらく豊島区内を流れ、写真下右の氷川下児童公園手前からは文京区となり、文京区内を流れて神田川に合流します。



川は現在の氷川下児童公園内を突っ切り直進して流れていたようです。公園を横切った川はこの道（写真下左）を直進して不忍通りまで流れていきました。現在は公園を回り込んだ道が出来て、昔の流れにつながります。



川の流れは写真下左で川筋と思われる小公園に入ります。小公園の前は不忍通り（写真下右）です。川は不忍通りを横切り、前方の建物の間の細い道の流れていきます。



豊島区立郷土資料館友の会の資料の記録では、今回歩いた明治通りから不忍通りまでには14の橋があります。ただし、いずれも橋のあった場所の表示やモニュメントは再現されていませんでした。

今回はここまでとします。次回は最終回で神田川に合流するまでの谷端川の流れを辿ります。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道（道中）」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年7月26日、青森宿（江戸から752km）に到着しました。

新型コロナウイルス感染拡大の終息には程遠い状況です。運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。毎日の歩いた距離を色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」には各ロングコースが紹介されています。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで利用してください。歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、また水分をこまめにとり熱中症にご注意を！

平野 寅次郎 拝